

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和05年11月07日	
計画の名称	岸和田市公共下水道整備計画（その2）（防災・安全）																
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当				
交付対象	岸和田市																
計画の目標	総合的な下水道事業の継続を進め、安心安全な市民生活の確保を図る。																
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		4,445	A	4,445	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%	

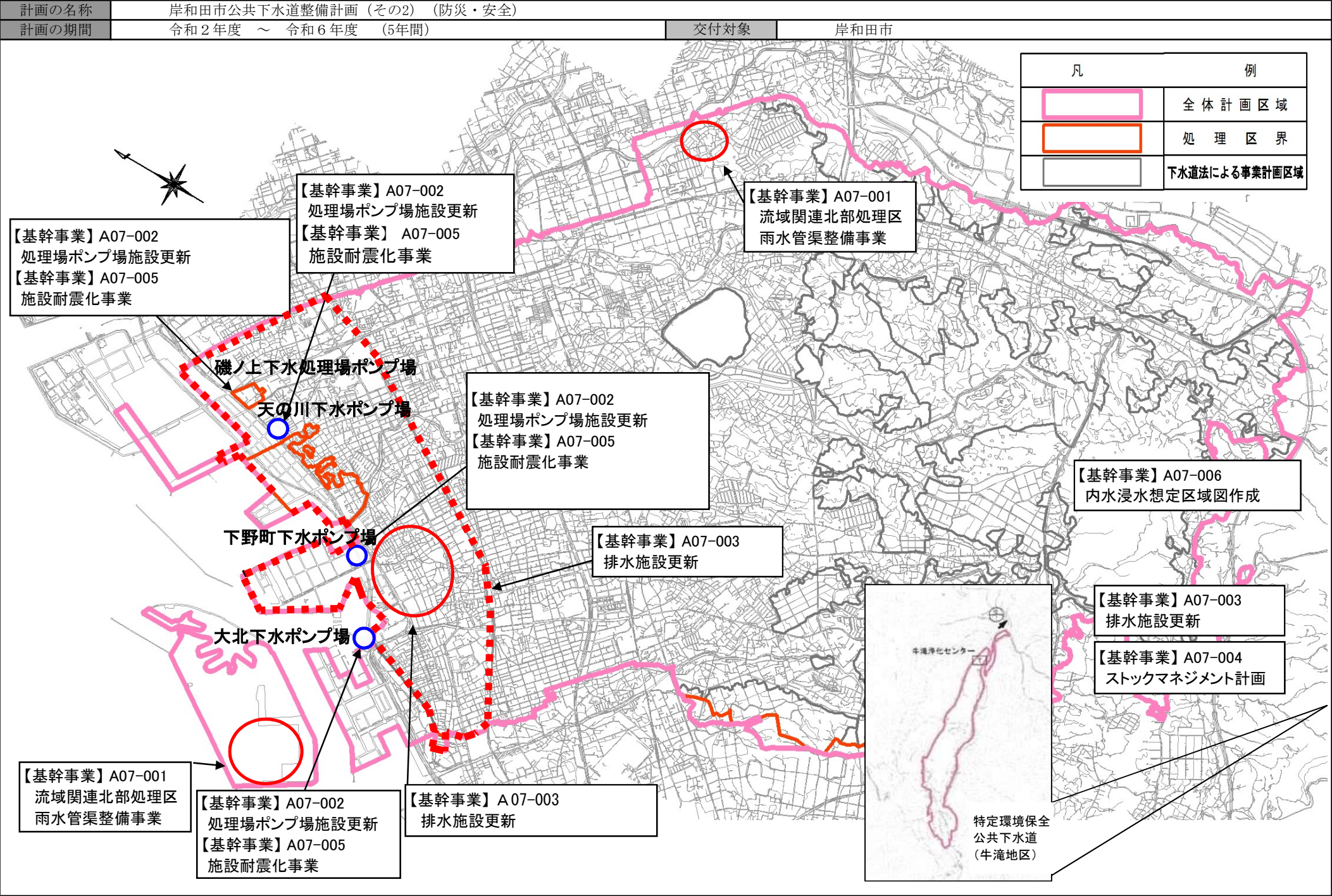
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R02当初)	(R04末)	(R06末)
1	・ポンプ設備更新率を50％（R2）から71％（R6）に向上させる。			
	ポンプ設備更新率（％）＝（更新済ポンプ設備（台）/更新対象ポンプ設備（34台））	50%	59%	71%
2	・ポンプ場、処理場施設の耐震化率を50％（R2）から83％（R6）に向上させる。			
	ポンプ場、処理場施設の耐震化率（％）＝（耐震化施設（箇所）/ポンプ場・処理場（6箇所））	50%	67%	83%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 雨水）	新設	流域関連北部処理区 雨 水管渠整備事業	雨水管 Φ500～1650 L=1,0 00m	岸和田市	■	■	■	■	■	388	-	—	
	A07-002	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	改築	処理場ポンプ場施設更新	設備改築	岸和田市	■	■	■	■	■	2,926	-	策定済	
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は他に処理場も含む																		
	A07-003	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	改築	排水施設更新	老朽化人孔蓋取替工事,合流 管Φ250～1200 L=500m,雨 水函渠□2250×1350 L=45m, 計画策定	岸和田市	■	■	■	■	■	259	-	策定済	
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は雨水・汚水を含む																		
	A07-004	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 汚水）	改築	ストックマネジメント計 画	更新計画策定	岸和田市		■					23	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は他に雨水・合流・ポンプ場・処理場含む																		
A07-005	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	—	施設耐震化事業	耐震診断・耐震化工事	岸和田市	■	■	■	■	■	799	-	—		
	種別1には処理場を含む																			
A07-006	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 雨水）	—	内水浸水想定区域図作成	内水浸水想定区域図作成	岸和田市						■	50		—	
	種別 1 には、合流を含む。																			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						4,445		
											合計						4,445		

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	
配分額 (a)	199	280	338	185	
計画別流用増△減額 (b)	△51	1	△6	△14	
交付額 (c=a+b)	148	281	332	171	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	148	281	332	171	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c + d -e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率 (i= (g+h) / (c+d)) %	0	0	0	0	
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 岸和田市公共下水道整備計画（その2）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が『岸和田市都市計画マスタープラン』など、基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○

[illegible]